



深い泉

幸せな贈り物

「くり返す苦しみ」

その不幸の秘密

大韓民国の国民の四苦 少し前、大韓民国に生まれたすべての国民は四苦のくり返しの中に閉じ込められているという文章を目にしました。ここで話す四苦というのは、すべての人類が体験する生老病死の普遍的な苦痛ではなく、韓国人が自ら作り出した試労育貧の苦痛を言うということでした。最初は「**試**」入試の苦痛で、言葉を学ぶ前に先行学習が始まって、社会に出て行く前からだど心が荒廃してしまい、大学に進学した後も働き口を求めるためのより一層激しい競争が待っているから、入試の苦痛は終わらないということでした。二つ目は「**労**」過労の苦痛で世界1位の項目が並んでいる大韓民国は、労働条件でも年間最長労働時間世界1位、産業災害死亡率世界1位、過労死世界1位で、自分の夢を成し遂げる前にくり返す日常に疲れはてて行くということです。三つ目は「**育**」、塾など個人的に行う教育の苦痛で、親は自分の生活をしていくのにもギリギリの収入を塾などにかかる費用に一度に注ぎこむのですが、底の抜けた瓶に水を注ぐようで、自分の子どもが一等になるためには、だれかが二等に滑り落ちなければならないゼロサムゲーム(zero sum game)はいつもそのままであるということです。四つ目に「**貧**」、貧困の苦痛で、一生、骨が抜けるほど仕事をして、食べ物も着る物も惜しんで子どもを教育させるのですが、引退してゆっくり休まなければならない年齢で、大部分の場合、訪ねてくるのは余裕がある人生ではなく、貧困と病気だということです。結局、寂しくて不安な晩年に死の影が重く垂れ

こめます。そして、こういう苦痛は代を引き継いで、引続きくり返すと告白しながら、この世に生まれたという事実がむごいことなのだと話しました。はたして、私たちはこういう運命的な苦痛の人生を生きていかなければならないのでしょうか。

運命とは、人間を含めたすべてを支配する超人間的な力、または、それによって、すでに決められている命や境遇のことを言います。それでは、なぜ人間に運命ができたのでしょうか。聖書は、本来の人間には運命がなかったと確かに言っています。神様が世の中を創造されたとき、それぞれの原理を持って造られたのですが、魚は水中で、鳥は空中で、木は地中に根をおろして生きるようにされました。そして、人間は神様のかたちとして、神様とともにいる存在として創造されました。ちょうど、赤ん坊がお母さんとともにいるときに最も幸せなように、人間は神様とともにいるとき、最も幸せな存在として創造されたのです。ところが、エデンの園で最初の人間であるアダムとエバは、サタンのうそにだまされて、神様との約束を破って神様を離れ、サタンの手に捕まった人生を生きるようになりました。この時から世の中には呪いと苦痛が入ってきはじめ、奴隷の家で生まれた子孫が、全部、奴隷になるように、この事件以後に生まれるすべての人は、神様を離れた状態で生まれて、親がない子どものように不幸な生活を送るようになりました。

結局、すべての人間に、避けることができない運命と運勢が訪ねてくるようになったのです。

運命に縛られた人の人生スケジュール 神様を離れた人間は、六つの運命のスケジュールをもって生きて行くようになりました。**最初**に、自分も知らない間に、悪魔(サタン)の子どもになってしまいました。悪魔(サタン)がもたらすくり返す苦痛と、理解できない呪いの中で、人間は幸せがあるはずはないようになりました。**二つ目**に、人生を生きていくほど不安と恐れが訪ねてきます。それで、偶像崇拜をしたりもして、お祓いをしたり、お守りに頼り、先祖供養をしたり、占い師を探し回ったりもします。**三つ目**、そうすればするほど、心のむなしさはより一層激しくなって、結局、目に見えないように心の病気になり、激しい悪夢や金縛りにあって、不眠症、幻聴と幻覚に苦しめられて、極度の不安でうつ病や精神病になり、日常生活まで正しくできない人がますます多くなっています。**四つ目**、自然に肉体の健康も崩れるようになって、あらゆる病気に苦しめられるようになります。**五つ目**、結局、人間は死ぬようになり、地獄という永遠な苦痛と刑罰の中に入っていくしかありません。**六つ目**、私が持っていた良い点と悪い点など、霊的な問題と偶像崇拜の呪いが、驚くことに、子どもにそのまますべて伝えられて、苦痛の相続が続くようになります。

運命から解放された人の人生スケジュール ところで、聖書を見れば運命から解放された信徒は未信者と四つの違う点を持って人生を生きていくようになります。**最初**に、永遠に神様とともにいる神様の子どもとして生きていくという事実です。**二つ目**、神様をご覧になるとき、すべての罪を赦された義人であるという事実です。**三つ目**、神様がいつもともにおられ、神様の答えを受けるという事実です。**四つ目**、もう世の中の風潮に従って生きるということではなく、永遠に神様の導きを受け、天国の祝福の中で生きていくという事実です。それで、イエス・キリストを知らず、苦痛にあっている多くの人々と家庭と家系を生かす最も価値ある人生スケジュールの中で生きていくこととなります。

どんな人生を生きていくことを願っていますか 人間に何の希望もないとき、神様は人間のくり返す苦痛の問題を解決してくださるために、人間を救う計画を立てられました。その方法は、神様が人間となってこの世に来られることでした(ヨハネの福音書 1:14、ローマ人への手紙 5:8)。その方がまさに「イ

エス・キリスト」です(マタイの福音書 1:21)。この世に来られたイエス・キリストは、人間の代わりに十字架で死んで復活されることによって、人間の罪と運命、呪いと災いの問題をすべて解決されました(マルコの福音書 10:45、ローマ人への手紙 8:2)。信じる人にすべてに永遠にともにいる神様の子どもになる道を開いてくださいました(ヨハネの福音書 14:6、ヨハネの福音書 1:12)、真の王として来られて、サタンの権威を打ち砕いて、その手から解放される道になってくださいました(ヨハネの手紙第一 3:8、ヘブル人への手紙 2:14-15)。

だれでもこのイエス・キリストを信じて心に受け入れれば、救われて神様の子どもになることを約束していただきました。神様の子どもになれば、神様の聖霊が永遠に私とともにおられ、私の人生を導いてくださって、呪いと運命から抜け出して、真の平安と祝福を味わうようになり、神様の答えを受けつつ、人を生かす最も祝福された人生を生きていくようになります。

信仰の選択は瞬間ですが、救いの恵みは永遠です。あなたがくり返す苦痛と運命から解放されて、真の幸せを味わいながら生きていくのが神様の願いであり、愛なのです。

今この時間にあなたはイエス・キリストを受け入れることによって神様の子どもになり、すべての運命と家庭、家系の問題から永遠に解放されることができ(ヨハネの黙示録 3:20、ヨハネの福音書 5:24)。真実な心で下の祈りをそのまま告白すれば良いのです。

神様の子どもになる受け入れの祈り

「愛の神様、私は罪人です。イエス様が私のすべての罪を十字架で解決して、復活されたキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として、私の生活の主人として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン」

「こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。なぜなら、キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。」(ローマ人への手紙 8:1~2)

伝道運動の全体理解

全体を見る目があれば... 全体を見る目があれば、悪魔が私たちに投げかける誘惑のわなに簡単に引っかからないという話があります。いつも私たちの頭の中に伝道運動に対する全体を理解することが重要です。剣道の高段者がこういう話をしました。「相手を打って勝つのではない。相手に勝った後に打つのだ」人を剣で勝つのではなく、すでにすべての位置、戦略で勝っておいて打つということです。そのように、全体を見る目が重要です。

伝道運動の全体 15 種類 最初に最も近くにあることを見なければなりません。1) **生活** 死んでしまえば終わるのですが、死なない以上、皆さんに最も近くにあるのが生活です。私の生活が伝道とつながらなければなりません。2) **祈り** 私の祈りが伝道とつながらなければなりません。3) **みことば** 私が握ったみことばが伝道とつながらなければなりません。4) **システム** すべての人には所属と現場があります。この中で伝道祝福を味わうのです。二つ目、ともにしなければならぬ人々がいます。5) **一般信徒** が現場で神様のみことばの成就を体験するように仕えるのです。6) **重職者** (職分者) たちが、傍観者ではなく、すべての教会の答えを正しく味わうように助けてあげるべきです。7) **新しく救われた人** が周辺にある多くの未信者を生かせるように使命者に立てなければなりません。8) **専門家** (エリート) に福音のお手伝いをして、福音の価値を知って、その専門性が伝道の門になるように助けなければなりません。9) **次世代** (レムナント) が、未来の大きい伝道の畑であることを知って助けなければなりません。三つ目、全体の内容を見なければなりません。10) **いやし** すべてのエリート、すべての人は、いやされなければならない理由、体質、それまでの人生を持っています。それで、必ずいやされるように手助けしなければなりません。11) **答え** 福音的ないやしができれば、みことばで答えを受けるようになります。12) **力** そうすれば、必ず世の中を生かして、時代を導く神様の力が出てくるようになります。四つ目、私たちがしなければならぬ必須の使命があります。13) **信徒** 1人1人の個人の**祈りの課題**を知って正しく確認しなければなりません。14) **信徒個人に、伝道方向**を与えなければなりません。15) そうすれば、**確実なキャンプ**が出てくるようになっていきます。

この15種類が、私の頭の中にいつもあるとき、生活の中でだれかに会っても、答えを与えることができます。このように人生が変わってしまうのです。この15種類を頭の中に刻印する瞬間から、違うことが見えるようになるでしょう。みなさんの生涯で最も祝福された時間が起きるようになるでしょう。

神様の子どもたちの五つの確信

- 1 **救いの確信** : イエス・キリストを信じて受け入れた私は、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15-16、Iヨハネ 5:10-13)
- 2 **祈り答えの確信** : 神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)
- 3 **導きの確信** : 神様は聖霊で私の中におられ、私のすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26-27、箴言 3:5-6)
- 4 **赦しの確信** : 私のすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さい(Iヨハネ 1:9、ローマ 3:24)
- 5 **勝利の確信** : 救われた私は、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31-37、Iヨハネ 5:4)

神様の子どもたちの毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタン勢力を權威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ、私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

苦しく ないですか



生活を送っていると、いろいろなできごとに出会うようになって、こういう関係で自分の考えと思いが伝えられるようになるのに、受けてもらえないとき、人々は苦しさをを感じる。そのような状態をくり返して過ごしていると、過敏性ショック反応で現れて、呼吸困難になって苦痛を味わうようになるのだが、この頃の周辺状況が環境と空間、視覚的に息詰まる感じなので、個人の状態により、そのような苦しさを感ずることもある。精神の自由が足りない状態だから、しばしば起きることもあるが、もし、あなたにもこのような現象が時々あるならば、心を整えてその裏にある重要な事実を理解しなければならない。

この頃のデジタル時代の核心は、**半導体**が産業に多様に利用されていることだ。どうも未来産業の根幹は半導体でないかと思われるのだが、それで有名な企業が、そのような分野に惜しみなく投資しているのだ。電気伝導の状態によって電気がよく通じる物体を**導体**と言うのだが、鉄と銅のような金属類がそれで、よく通じない物体は**不導体**、あるいは**絶縁体**と言われるが、木やガラス、ゴムなどのことを言う。その中で、電気が通じる条件を作って、電気が通じるようにもして、通じないようにもする物体がまさに**半導体**だ。そのような過程を科学者が加工して、発明品を作り出して人間に助けを与えているのだ。

おもしろいことに、人間の創造にこういう電気原理が隠れているのだが、それが創造の法則だ。神様が人間にご自分の意志が通じる秘密を他の生命体にはなく、ただ人間にだけ与えられたが、それが神のかたちだ。神様のかたちがある人は神様と通じる。電気物質で見たら、伝導できる導体である。導体としての人間は、神様のすべての良いものを思いきり味わう自由がある。人間はいのちに関心があるのだが、健康と未来が心配ない永遠のいのちがまさに人間自身のものだった。

しかし、人間は自らの選択によって、神様のかたちを離れて**導体**を**不導体**に変えた。神様のすべての良いものを簡単に持てたのにもかかわらず、人間は今苦痛の中で健康と未来と心配することを通して、足りないものを少しだけ制限的に持つようになる、神様と通じない人になったのだ。それで、人生に苦しいことが起こったのだ。神様と通じた人生が神様と通じなくなったので起きた現象が苦しみである。

苦しい人々は、自らに確認してみれば良い。私は神様を味わっているのか。簡単に話せば、人間が最高に味わう存在が親であるように、神様がお父さんのようなのかということだ。お父さんとして見ていれば「**導体の人生**」だが、神様がおじさんや、そうでなければ私の人生と何の関係もない方だと見ていられるならば、「**不導体の人生**」になったのだ。しかし、神様は人間が**不導体**で存在してはいけないと思われて、**不導体**に電気が通じるように特別な価値を与えられ、**半導体**のようにしてくださるのだが、その特別なことがまさにイエス・キリストだ。神様と通じられない人間の状態を神様と通じる価値を十字架で血を流すことと復活、すなわち救いの道を通して、**不導体の人生**を**半導体人生**に変え、**伝導体の人生**に変化させられたのだ。

苦しいならば通じないためだから、苦しさを抜け出したいなら、**半導体**に与えられる**伝導体**のように信仰を持って自由を味わえば、すっきりとするようになる。

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

*相談したい方はこちらまでどうぞ